

平成29年度アセアン中学生招聘交流事業



報告書
REPORT

事業趣旨 日本とアセアン加盟国青少年の国際交流を通して、グローバル社会に対応した高い国際感覚を備えた青少年を育成する。

参加者 アセアン加盟国10カ国の中学生及び引率者 70名
受入地方教育施設が募集する日本人中学生、高校生

事業の進め方

事前研修

交流相手国と日本の交流の歴史を学ぶ

各施設ごとにディスカッションしたいテーマを決め、それに関する、自身の暮らす地域の魅力や課題を調べる

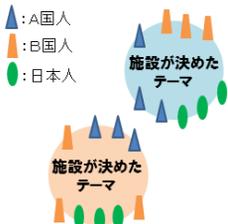
テーマ設定のポイント

「自国や地域が今よりも良くなるために自分たちができること」を導き出すためのディスカッションなので、マイナスをプラスに改善するための取り組みでも、すでにプラスのものをもっと良くするための働きかけでも良い。壮大な内容であったとしても、参加者が発表するのは「自分たちができること」であることを念頭にテーマを決める。

ディスカッション

各国のグループに日本人参加者を振り分け、事前学習したテーマについてディスカッションする

<ディスカッションのイメージ>



※3カ国受入の場合は3つになります

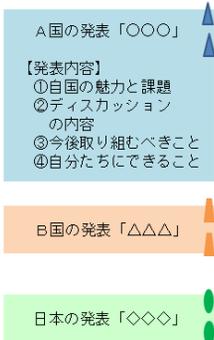
ディスカッションの結果を下記の4点を中心に各国ごとにまとめる

- ①自国の魅力と課題について
- ②ディスカッションの内容
- ③今後取り組むべきこと
- ④自分たちができること

学習発表会

国ごとに自国の課題に対応するための方策についてまとめたものを発表する

<発表のイメージ>



- ・アセアン中学生は英語
- ・日本中学生は日本語または英語
- ・発表は通訳込15分

事後活動

発表した内容を実際に行動に移すためのまとめ

身近な、小さなことから行動に移す

**地域の課題に取り組むことができる
次世代リーダーの育成**



主催 国立青少年教育振興機構
協力 アスジャ・インターナショナル、アスコジャ

活動報告

A日程 10月16日(月)～10月24日(火)8泊9日
 国立乗鞍青少年交流の家(岐阜県): インドネシア・タイ
 国立中央青少年交流の家(静岡県): カンボジア・フィリピン・ベトナム

日付	活動内容
10月16日(月)	来日
10月17日(火)	都市プログラム 名古屋: 名古屋城、テレビ塔、名古屋市科学博物館を見学
10月18日(水)～10月23日(月)	地方施設プログラム
10月24日(火)	帰国



名古屋城前での集合写真



名古屋城の金のシャチホコの前で記念撮影



天ぷらなどの日本食を楽しむアセアン参加者

国立乗鞍青少年交流の家

日本人参加者5名 日本人交流者150名

日付	活動内容
10月18日(水)	高山市役所表敬訪問
10月19日(木)	久々野中学校訪問 歓迎会 授業(英語、書道、社会) 給食、清掃体験
10月20日(金)	収穫体験 伝統食づくり(笹寿司・御幣餅) ディスカッション
10月21日(土)	ディスカッション、学習発表会 伝統文化体験 ホームステイ
10月22日(日)	ホームステイ フェアウェルパーティー
10月23日(月)	高山市古い町並散策

ディスカッションテーマ

「自国(あるいは自分の住んでいる地域)の魅力を他国にPRするにはどうしたら良いか考える」



地元の特産物のリンゴの収穫体験を行いました。アセアン参加者が鈴なりになったリンゴを笑顔で収穫する姿が印象的でした。

学習発表会はすべて英語で行いました。日本人参加者が英語で発表すると、アセアン参加者から大きな拍手を浴びました。



国立中央青少年交流の家

日本人参加者10名 日本人交流者563名

日付	活動内容
10月18日(水)	日本語学習 御殿場市長表敬訪問 ウェルカムパーティー
10月19日(木)	原里中学校訪問、授業、給食 折り紙、焼き芋作り、着物の着付け
10月20日(金)	茶道、餅つき ホームステイ
10月21日(土)	ホームステイ ディスカッション
10月22日(日)	ディスカッション、学習発表会 野外炊事、フェアウェルパーティー
10月23日(月)	三保の松原散策

ディスカッションテーマ

「日本とアセアン諸国との交流を活発にしていかに」



ウェルカムパーティーでは日本人参加者がソーラン節を披露し、日本文化を紹介しました。

アセアン参加者は慣れない正座に苦労しながらも、茶道の礼儀や作法を学びました。



B日程 11月20日(月)～11月28日(火)8泊9日

国立信州高遠青少年自然の家(長野県):ラオス・マレーシア・シンガポール

国立吉備青少年自然の家(岡山県):ブルネイ・ミャンマー

日付	活動内容
11月20日(月)	来日
11月21日(火) 東京:ラオス、マレーシア、シンガポール 大阪:ブルネイ、ミャンマー	都市プログラム 東京:スカイツリー、浅草を見学、その後信州高遠へ移動 大阪:あべのハルカス、大阪城を見学、その後吉備へ移動
11月22日(水)～11月27日(月)	地方施設プログラム
11月28日(火)	帰国



日本に到着したアセアン参加者



浅草寺、雷門で記念撮影



アベノハルカスで大阪市内を見下ろすアセアン参加者



大阪城で記念撮影

国立信州高遠青少年自然の家
日本人参加者18名 日本人交流者186名

日付	活動内容
11月22日(水)	高遠中学校訪問 授業(音楽、英語) 給食、清掃体験 部活動体験(剣道) ウエルカムパーティー
11月23日(木)	千畳敷カールでの雪山体験 天竜川舟下り
11月24日(金)	高遠町の歴史・文化体験 ディスカッション
11月25日(土)	ディスカッション ホームステイ
11月26日(日)	ホームステイ 学習発表会 フェアウエルパーティー
11月27日(月)	諏訪大社秋宮見学

ディスカッションテーマ

「自国や地域の魅力を発信し、多くの観光客に訪れてもらうために」



千畳敷カールでの雪山体験では、アセアン参加者が初めて見る雪に感動し、興奮していました。雪の上で寝転んだり雪合戦をしたり、雄大な自然を満喫しました。

ディスカッションではテーマに沿って、日本人参加者もアセアン参加者も、意見を述べ合いました。



国立吉備青少年自然の家
日本人参加者13名 日本人交流者339名

日付	活動内容
11月22日(水)	吉備中央町長表敬訪問 吉備津神社及び後楽園見学 ウエルカムパーティー
11月23日(木)	吉備中央町の文化体験、散策
11月24日(金)	加賀中学校訪問、給食 授業(数学、理科、英語、体育、音楽) ホームステイ
11月25日(土)	ホームステイ ディスカッション
11月26日(日)	ディスカッション、学習発表会 フェアウエルパーティー
11月27日(月)	神戸異人館見学

ディスカッションテーマ

「自国(自分の住んでいる地域)の伝統文化(主に地域の祭り)の良さや課題を交流し、課題解決方法を考える」



吉備中央町の文化体験では、地域の伝統文化を学べるコースを日本人参加者が考え、アセアン参加者を案内しました。

ホストファミリーがアセアン参加者のために、地元の文化や日本の生活を味わえるような内容を考えてくれました。



印象的なエピソード



国立乗鞍青少年交流の家



国立中央青少年交流の家



フェアウェルパーティーでは、タイやインドネシアの中学生が華やかな衣装を身にまとい伝統舞踊を披露し、会場は参加者からの大きな拍手に包まれました。また、パーティーの終了時が、1泊2日と一緒に過ごしたホストファミリーとの別れとなり、アセアン中学生の目からは涙が湧き出ていました。

ディスカッションで同じグループだったアセアンの中学生と日本人中学生が、協力して日本風のカレーライスを作りました。一緒に作って食べたことで、より一層交流を深めることができました。それぞれのテーブルから、参加者同士の話し声があふれていました。



国立信州高遠青少年自然の家



国立吉備青少年自然の家



アセアン参加者と日本人参加者をグループに分けて、日本人参加者が考えた高遠町の歴史・文化体験を行いました。日本人参加者は英語が上手に話せない中、片言の英語とボディランゲージを駆使して高遠町を案内しました。この活動で日本人参加者は言葉が通じなくても、「伝えようとする心」が大切であることを学びました。

吉備中央町の文化体験で、ジャム作りを体験しました。言葉が通じない中での作業は苦勞が多かったですが、この活動を通じて日本人参加者はコミュニケーションの大切さを学ぶことができました。最後に、出来上がったジャムの瓶に、アセアン参加者と日本人参加者がメッセージを寄せ書きし、世界で一つだけのジャムが完成しました。

日本人参加者の取組

各施設の活動では日本人参加者として近隣の中学生が参加しました。日本人参加者は事業の当日以外に事前研修と事後活動を行いました。(事前研修・事後活動は国立吉備青少年自然の家の様子)



日本人中学生が話合う様子

事前研修を4回行いました。
第1回では、アセアンの国々の文化や歴史を学ぶことや、ディスカッションテーマを何にするか話し合いました。話し合いの結果「地域の伝統文化」に決まりました。
第2回では、そのテーマに沿った見学先を中学生自身が考えました。さらに、ディスカッションテーマに関して、現在抱える問題について、意見を出し合いました。
第3回及び第4回では、ウェルカムパーティーやフェアウェルパーティーの企画運営についての話し合いや、見学先を案内するための準備を行いました。



今後の活動について話合う様子

事後活動は、吉備中央町地域おこし協力隊(3名)をオブザーバーとして迎え、実施しました。ディスカッションで考えた内容について、「自分たちが活動するには、具体的に何が出来るか」話し合いました。話し合いの結果、以下のような提案がありました。

- ①ポスターを作成し、お祭りの参加を呼びかける
- ②パンフレットを作成し2つの祭りについて理解を深める
- ③ボランティアを募り、ゴミ袋配布でお祭り会場の美化を呼びかける。

日本人参加者自身が、これらの提案を実行に移せるように、協力隊と連携しながら進めています。

99.4% 達成!

本事業の事前研修、事業本番、事後活動に参加した日本人参加者を対象に「外向き志向」に関する調査を行いました。調査内容は、「日本人として世界に貢献したい」「外国の人との交流を通して自分の可能性を広げたい」「交流した外国人の人と将来も繋がりを持たたい」の3項目を「外向き志向」の指標とし「1. とても思う、2. 思う、3. 少し思う、4. あまり思わない、5. 思わない、6. 全く思わない」の6段階の選択式で、事業後にアンケートを実施しました。
「1. とても思う、2. 思う、3. 少し思う」の3つを「外向き志向」として集計した結果、99.4%と非常に高い結果となりました。
その理由としては、事前研修を行う中で、アセアンの国々に関して調べたことが外国に関する興味の高まりにつながったことや、この事業に参加した一部の日本人参加者がホームステイの受入も行ったことなどが考えられます。

新聞掲載



友好の証し、祝福の踊り
タイとインド 久々野中を訪問
久々野中学校を訪れたタイとインドの中学生は、民族舞踊を披露し、交流を深めた。写真はインドネシアの民族舞踊を同中学の生徒に披露している様子です。

岐阜新聞飛騨版
10月20日(水)掲載

国立乗鞍青少年交流の家でのプログラムで、地元の久々野中学校を訪問した際に、民族舞踊を披露し交流を深めました。写真はインドネシアの民族舞踊を同中学の生徒に披露している様子です。

アセアン各国の随行者からのメッセージ

- ・中学校訪問では、多くのことを学び、新しい友達を作り、本当の意味での交流ができたと思います。(フィリピン)
- ・ホームステイでは生徒たちにとって日本の家族ができたように感じられ、かけがえのない思い出となったようです。(タイ)
- ・日程は室内と室外活動がバランスよく入っていたので、とても充実した時間を過ごすことができました。(シンガポール)
- ・訪問場所では今日の日本人の生活様式を体験でき、また、昔からの伝統や文化について学ぶことができました。(ミャンマー)